

令和2年第1回市議会定例会一般質問通告一覧表

1 質問通告者

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) 公明党 | (1 神野久美子、2 井上純一) |
| (2) 日本共産党議員団 | (3 近藤美保子) |
| (3) 子どもたちに青い空 | (4 村瀬進治) |
| (4) 新緑水クラブ | (5 早川康司、6 栗野文子、7 富田博巳) |
| (5) 市友会 | (8 工藤政明) |

2 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 神 野 久美子 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新型コロナウイルス対策について	1 新型コロナウイルスの感染が拡大している中での、市の対策について問う	(1) 市民が感染した場合の対応や市民への情報提供をどのように考えているか (2) 救急搬送時の救急隊員を感染から守る対応は、どのように考えているか (3) 感染予防のための災害用備蓄品の活用について、どのように考えているか	
2 認知症施策について	1 認知症予防や認知症の方への対応、認知症サポーターの活用等の取組について問う	(1) フレイル予防、コグニサイズの取組状況と課題は何か。また、課題解決に向けての考えはどうか (2) 認知症初期集中支援チームの活動状況と課題は何か。また、課題解決に向けての考えはどうか (3) 認知症カフェの活動状況と課題は何か。また、課題解決に向けての考えはどうか (4) 行け不明高齢者搜索模擬訓練の効果をどのように考えているか (5) 他市では、認知症サポーターが高齢者安心見守り隊として、ごみ出し、見守りをはじめ、地域でできることを実施している。本市における認知症サポーターの活用についての考えはどうか	
3 地域共生社会の実現について	1 ひきこもり、介護、貧困等の問題について、断らない相談支援、参加支援、地域づくりの3つを一体的に実施できるよう、国が交付金を設けることについて問う	(1) 既存制度では狭間となり対象とされなかったニーズに対応することについての考えはどうか (2) 断らない相談支援等の令和3年度の実現に向けた市の考えはどのようなか	
4 交通弱者の移動支援について	1 らんらんバスのダイヤ等が改正されるが、改正内容及びらんらんバスの運行していない地域の交通弱者への移動支援について問う	(1) らんらんバスのダイヤ等の改正内容はどのようなか (2) らんらんバスの運行されていない地域の交通弱者への移動支援策は検討されたのか (3) 民間が実施している乗合送迎サービス「チョイソコ」を導入する考えはあるか	

<p>5 Wi-Fi整備箇所の拡大について</p>	<p>1 Wi-Fiは災害時でも利用できる通信手段として強みを発揮しているが、整備箇所の拡大について問う</p>	<p>(1) 避難所等、各種施設に平時でも利用できるWi-Fiの環境を整備する考えはあるか</p>	
---------------------------	--	---	--

質 問 者	2 井上純一議員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 行政手続の電子化について	1 2019年12月に政府は、2024年度までに国の行政手続の9割を電子化する方針を盛り込んだ「デジタル・ガバメント実行計画」を決定した。計画では、マイナンバーカードを利用して添付書類を省略できる仕組み作りを進める方針が示されている。そこで、本市のマイナンバーカード普及促進及び行政手続の電子化の取組について問う	(1) 2020年9月からマイナンバーカードを活用した消費活性化策として「マイナポイント」が実施されるに当たり、マイナポイントの予約設定作業で窓口業務の混雑が予想されるが、本市の対応はどのようなものであるか (2) マイナンバーカード普及に向けて、どのような取組をしているのか (3) 政府は、2021年3月から、マイナンバーカードに健康保険証機能を持たせ、2023年3月末までに概ね全ての医療機関や薬局での導入を目指している。本市はどのように取り組むのか (4) 行政手続の電子化に向けて現状はどのようなものであるか	
2 就職氷河期世代への就労支援について	1 政府は、2019年度の「骨太の方針」で、今後3年間で、就職氷河期世代の正規雇用者を30万人増やす目標を掲げ、2019年度補正予算を含め3年間で650億円を上回る財源を確保し支援を本格化する。そこで、本市の支援への取組について問う	(1) 本市の就職氷河期世代への就労支援の今後の取組はどのようなものであるか (2) 非正規雇用者や失業者を正規雇用者として雇用した企業への助成が拡充されることを市内事業主へ周知すべきと考えるがどうか (3) 2020年1月23日に総務大臣より都道府県知事及び市区町村長に対し、就職氷河期世代の積極的な中途採用の実施等を求める書簡が出されたが、本市はどのように対応するのか	

質 問 者	3 近 藤 美保子 議 員 （日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新型コロナウイルスの感染予防対策について	1 小中高校の臨時休校は、政府の専門家会議に諮らず、安倍首相の責任において要請がされたものである。休校は自治体の判断で行われるよう要請され、本市では小中学校の休校を決めた。共働き家庭の児童が安全に過ごすための、対策等について問う	(1) 小中学校を休校にしたことによる課題を本市はどのように把握し、対策を講じたか (2) 小学校の休校により、民間の学童保育、放課後児童クラブ等に通う児童は、狭い空間で過ごすことになり感染のリスクが高いと考えるが、どのような対策をしているか (3) 児童・生徒に対し感染予防のための休校であることを理解できるように説明を行ったか。また、中学生に対しては、感染予防の行動ができるように説明を行ったか (4) 給食センターの委託先のパート等社員は何人いるか。また、パート等社員への影響及び賃金保障について、どのように把握しているか (5) 臨時休校中の食材について、学校給食センターはどのように対処したのか	

<p>2 消防力の強化について</p>	<p>1 近年、震災、異常気象による風水害が起き、南海トラフ地震への対策も求められている。</p> <p>また、少子高齢化等人口構成の変化及び開発による環境の変化等により、年々救急車出場は増加してきており、本市の基本的な消防力強化について問う</p>	<p>(1) 過去3年間の救急出場件数、全車同時出場件数、年ごとの最高出場数であった月及び日とその件数はどのようなか</p> <p>(2) 救急車に傷病者が乗車してから走行に至るまでの時間が長いという市民の声があるが、理由及び認識はどのようなか。また、救急車の救急救命士の対応等について市民への理解が必要と考えるが対策はどのようなか</p> <p>(3) 知多広域消防指令センターが119番通報を受信してから、救急車が病院へ到着するまでの時間は平均でどのくらいか</p> <p>(4) 平成27年度の消防施設整備計画実態調査結果によると、消防職員の整備率は、人口10万人以上30万人未満を管轄する消防本部の全国平均値74.4パーセントで、本市は、平成31年4月1日現在において、63.2パーセントであるため、全国平均に近づけるよう対策するべきではないか</p> <p>(5) 救急車数は整備指針では人口10万人以上で5台以上となっていること、また、市人口及び高齢者人口の増加、異常気象による自然災害等を考慮し、早急に4台から台数を増やすべきではないか</p>	
<p>3 郷土資料館について</p>	<p>1 郷土資料館及び収蔵庫には、市制施行後50年が経過し、その間に発掘された埋蔵物や農具及び日常生活に使用した町や地域生活の歴史、時々の経済、文化を反映した貴重な品々が多く保管されている。</p> <p>本市の郷土資料館の今後の施策について問う</p>	<p>(1) 貴重な郷土資料が保管されている収蔵庫は、旧給食センターを利用しており、耐震化されておらず老朽化も進んでいる。郷土資料の保管状態についてどのように考えるか</p> <p>(2) 収蔵庫には、歴史的な資料が活かされずに保管されている。寄贈した市民から、寄贈品がその後どうなっているのかとの声があるが、市の認識と対応策はどのようなか</p> <p>(3) 若い世代に生活の変遷を伝え、高齢者に回想法として利用してもらう等、郷土資料の積極的な活用策を考えるべきではないか</p> <p>(4) 郷土資料館は平洲記念館内の一室にあり、独立した資料館ではない。文化と歴史を継承していくには、郷土資料を保管及び展示する環境整備が必要と考えるがどうか。また、新たな歴史資料館を建設するべきではないか</p>	

質 問 者	4 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 大気汚染対策について	1 本市の大気汚染対策は不十分であると考えことから、その対策状況及び今後の取組等について問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市北部に市費約9.6億円、国費約4.0億円、それに伴う高金利4.55%で大気汚染対策緑地として整備した聚楽園公園の事業内容と効果はいかに (2) 市南部への具体的な大気汚染対策はどのようなか。また、防じんフェンスや防じん用の吸着シートを設置すべきと考えるがいかに (3) 過去に横須賀地区の保育園関係者から大気汚染に関する相談や報告はあったか。また、その対応はいかに (4) 過去5年間における臨海部企業からの硫化水素の発生量をどのように把握しているか。また、過去に市職員から硫化水素に関する通報はあったか (5) 平成30年度の1か月当たりの降下ばいじん量において、知多市の測定地点の最大値が、本市の測定地点の最大値よりも大きい数値であったことについてどのような分析をしているか (6) 降下ばいじんにより、市民は清掃費用等、負担を強いられていることから、市は臨海部企業の責任として費用の補助を求めべきと考えるがいかに (7) 令和2年1月15日午後10時頃、空からキラキラと鉄粉が降ってくるとの市民からの通報にどのような対応をしたのか。また、緊急性がないと判断した根拠はいかに (8) 令和2年2月18日正午頃、日本製鉄株で大きな異常音があったことを把握しているか。また、市が広報しなかった理由はいかに 	
2 投票所について	1 中ノ池地区に投票所が設置されていないこと、また、市北部及び南部に期日前投票所が設置されていないことから、投票環境の向上のための方策について問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 投票所が設置されていない中ノ池地区の住民に対し、投票環境の充実のためにどのような対応をしてきたのか (2) 中ノ池地区の施設において投票所設置に向けての調査は実施したのか。また、その結果はいかに (3) 市北部及び南部に期日前投票所がないことに不便さを感じるが、今後どのように解消していくのか 	

3 新型コロナウイルス感染症対策について	1 新型コロナウイルス感染症が問題となっていることから、本市の感染症対策の取組について問う	(1) 名古屋市は人口の約15%、36万枚のマスクを備蓄しているが、本市の備蓄状況はどのようなか。また、マスクを市民に配布する考えはあるか (2) 令和2年2月25日朝に、人が多く集まる芸術劇場の大ホールを当分の間、閉鎖すべきと要望をしたが、対応はどのようなであったか (3) 収束の目処が立たない新型コロナウイルスの感染症対策について、市民を守るためにどのように考えているのか	
4 情報提供用フリーダイヤルの設置について	1 最近、市民からの通報電話や情報提供電話が多いと思われることから、フリーダイヤル設置の考えについて問う	(1) 市民からの情報提供用として、市役所に24時間対応のフリーダイヤルを設置すべきと考えるがいかにか	
5 市民総合窓口課の新設について	1 市民からの通報や相談に対して、窓口を転々とさせられている現状の対策について問う	(1) 市民からの通報や相談に対し、窓口を一元化することで行政サービスの一層の向上が図られると考えるがいかにか	
6 らんらんバスの停留所の椅子について	1 らんらんバスのほとんどの停留所に椅子が設置されていないことから、その現状と対策について問う	(1) らんらんバスの停留所は何か所あるか。また、停留所の椅子の設置率はいかに (2) 椅子が設置されていない停留所で、高齢者が車道に足を出して座っている光景を目の当たりにしたが、バスの運転手の意見を聴取して、計画的に椅子を設置していく考えはいかに。また、設置する椅子は2本脚で幅25センチメートル、長さ180センチメートル程度でよいと考えるがいかにか	
7 公共工事現場の表示看板について	1 他の自治体において、公共工事現場で工事内容を記載した表示看板に工事費の総額が明記されている事例があり、情報公開の観点で有効な取組と考えることから問う	(1) 本市においても工事費の総額を表示看板に明記すべきと考えるがいかにか	
8 御雉子山について	1 本市最高峰で標高59.2メートルの御雉子山を整備して観光名所とする考えについて問う	(1) できる限り費用を要しないように頂上付近を整地し、本市最高峰の標識を立て、伊勢湾を眺望できる名所にすべきとの要望が多いが、市の考えはいかに	

9 ごみ指定袋制度について	1 市民からの意見聴取をしていないごみ指定袋制度における本市の考えと対応について問う	(1) ごみ指定袋の用途別の自由交換をできるようにすると、ごみの量が増えるとのことだが、その根拠はいかに (2) 可燃用袋の同容量交換ができること及び資源用袋を清掃センター及び市民窓口課で50枚を限度に追加配布していることをどのように広報しているか。また、その交換実績及び追加配布の状況はいかに	
10 中学校の校則について	1 各地域で中学校の校則についての意見を聞くことから、本市の対応状況について問う	(1) 市内6中学校で生徒から校則についての要望が出ている事例はあるか。また、その対応はいかに	

質 問 者	5 早 川 康 司 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 細井平洲先生遺徳 顕彰事業について	1 これまで100年以上の長きに わたり平洲祭をはじめとして、平 洲会、行政及び民間団体等が主催 する数多くの遺徳顕彰事業が執り 行われてきた。令和2年は平洲先 生没後220年の節目の年であ り、米沢市との姉妹都市提携20 周年の年でもあることから、平洲 先生の遺徳顕彰のあり方、今後の 取組及び方向性について問う	(1) 平洲記念館及び嚶鳴広場について、展示物や設備等の現状はど のようか。また、今後の整備について、どのような計画と構想で 進めていくのか (2) これまでの平洲先生の遺徳顕彰事業に対する評価及び課題は どのようか。また、今後どのような観点で事業を進めていくのか (3) 令和2年は平洲先生没後220年の節目の年であること、また、 米沢市との姉妹都市提携20周年の年でもあることを踏まえ、ど のような顕彰事業を計画しているのか	
2 太陽光発電施設の 適正な設置・管理に ついて	1 再生可能エネルギー導入の推進 を図るため、国は平成24年から 固定価格買取制度を開始し、全国 的に太陽光発電を中心とした施設 の設置が急速に拡大している。一 方で、土砂流出や濁水の発生、景 観への影響、反射光による生活環 境への影響や災害時の対応等地域 住民が懸念する事例も発生してい る。本市においても、第2次東海 市環境基本計画に再生可能エネル ギーの推進を掲げ、導入を進めて いるが、地域と共生した再生可能 エネルギーが円滑に導入され、事 業の発展を促す施策について問う	(1) 太陽光発電施設の設置にあたり、規制・届出の対象となる施設 の条件はどのようなものか (2) 災害時等の対応のため、建築物の屋根、屋上、壁面等の所有者・ 管理者が特定しやすい場所以外に設置されている太陽光発電施設 の所有者・管理者をどのように把握しているか (3) 土砂流出や濁水の発生、景観への影響、反射光による生活環境 への影響や災害時の対応のため、独自に条例や設置基準、ガイド ライン等の制定に取り組む自治体がある中、本市としてどのよう に地域と共生した設置を促していくのか	

<p>3 全国学力・学習状況調査について</p>	<p>1 毎年実施されている全国学力・学習状況調査において、平成31年度は、中学生を対象に初めて英語のテストが実施された。また、令和2年4月から小学校で、令和3年4月から中学校で新学習指導要領が全面実施され、小学校5・6年生で英語が教科化、中学校で英語授業は基本的に英語で行われることになる。多様な文化に対する理解を深めながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする能力も含めた英語4技能が求められる中、児童・生徒の英語力及び学習意欲の向上と、グローバル化に対応した教育環境づくりを進める方策について問う</p>	<p>(1) 今回初めて英語が導入された平成31年度全国学力調査結果を踏まえ、本市の特徴及び課題はどのようなものか (2) 新学習指導要領が全面実施されることを踏まえ、英語力向上に向けた、現時点における成果、重視している取組方針及び目標はどのようなものか (3) 英語4技能のさらなる学習意欲向上の動機付けや受験機会を増やすため、中学生の外部検定試験の受験料を一部補助する等の支援策を考えてはどうか</p>	
--------------------------	--	---	--

	<p>2 平成31年4月から学習者用デジタル教科書が制度化され、令和2年4月から新学習指導要領が全面実施され、小学校でプログラミング教育が必修化となり、学校教育での情報化が本格化する。全国学習状況調査の全国結果からも、ICT環境整備の遅れと利用機会格差に危機感を持ち、児童・生徒や教員がICTを活用できる環境、活用しやすい環境を整えていくことが求められている中、本市の学校教育におけるICT環境整備と活用に関するこれまでの取組及び今後の方策について問う</p>	<p>(1) 学習用パソコンやICT活用について、平成31年度全国学習状況調査を踏まえた、本市の特徴と課題はどのようなものか</p> <p>(2) 全国と比較して、愛知県及び本市の学習用パソコンの普及状況はどのようなものであるか</p> <p>(3) これまでの個別利用タブレット端末の活用に関する考え方及び課題はどのようなものであったか</p> <p>(4) ICT環境整備が着実に進められていく中、学習用パソコンや個別利用タブレット端末の必要性及び今後の整備方針はどのようなものか</p> <p>(5) 各教科での学習場面、特別支援教育及び不登校児童・生徒支援対策としてのICT活用の可能性もある中、社会の変化や技術の進歩も踏まえた学習環境の整備及び学習活動の充実に繋がる方策を考えてはどうか</p>	
--	--	--	--

<p>4 日本語支援が必要な児童生徒の状況について</p>	<p>1 平成31年4月に「改正出入国管理法」が施行され、外国人労働者の受け入れ拡大と、家族の帯同も可能な「特定技能2号」が盛り込まれ、今後さらに、日本語支援が必要な児童・生徒が増える可能性がある。全国の公立小中高校等で日本語支援を必要とする児童・生徒の数が過去最多になる中、令和元年6月に日本で暮らす外国人への日本語教育の充実を促す「日本語教育の推進に関する法律」が施行されたことを踏まえ、本市における、日本語支援の必要な児童・生徒の現状と今後の対応及び支援策について問う</p>	<p>(1) 現在、本市の日本語支援が必要な児童・生徒の在籍状況、その特徴及び今後の傾向はどのようなものか (2) 本市で日本語支援が必要な生徒の卒業後の進路状況はどのようなものであるか (3) 外国人の児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、日本語指導・生活指導を行うプレスクールやプレクラス等での支援も考えられるが、本市での日本語支援の必要な児童・生徒の支援状況及び課題はどのようなものか</p>	
-------------------------------	---	---	--

質 問 者	6 栗 野 文 子 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 教職員の研修と働き方改革について	1 全ての子どもたちが社会で自立し、大人へと成長するため大きな影響力を持つ教職員の研修と働き方改革について問う	(1) 教職員研修事業には国内研修及び海外研修があるが、それぞれの研修の目的と成果はどのようなものであるか。また、研修への参加者の選定はどのように行われているか (2) 教職員の働き方改革が叫ばれる中、積極的に研修に参加できるようにするため、職場環境における配慮及び教職員から出る要望はどのようなものであるか (3) 開始されて5年目の海外研修について、研修参加者から本市に生かし、参考にすべき報告はどのようなものであるか	
2 周産期医療の早期確立について	1 開院以来、産科の医師不足に伴い分娩対応が開始できていない公立西知多総合病院の「改革プラン」の評価書が公表されたが、市民が待ち望む周産期医療の今後の見通しについて問う	(1) 毎年1,000人前後の出生数で推移する本市であるが、市民が利用する産院及び産婦人科医療機関の状況についてどのように把握しているか。また、近隣市町の産院及び医療機関との連携状況をどのように把握しているか (2) 公立西知多総合病院における周産期医療体制を、本市はどのように把握しているか。また、今後の見通しについて、見解はどのようなか	
3 児童虐待防止対策について	1 虐待によって幼い命が犠牲となる痛ましい事件が後を絶たない中、その根絶に向け、改正児童虐待防止法が、令和2年4月から施行される。未来を担う子どもを擁護、支援し、養育される権利をどのように実現していくのかについて、認識と見解を問う	(1) 家庭児童相談室への相談件数は過去3年間において、どのように推移し、その対応と課題をどのように把握しているか (2) 問題を抱える家庭が引っ越しをした場合の自治体間の連携状況はどのようなか。また、今後の課題は何か (3) 子どもの声を聴き、気持ちや意見を伝えられるようにする窓口の整備や組織が必要と考えるが認識と見解を問う	

<p>4 地域ねこ活動の推進と課題について</p>	<p>1 野良猫の命を救い地域で見守るために徐々に拡大されてきた地域ねこ活動が、令和元年11月末時点で15の地点で展開されるようになっており、活動場所として約100か所、管理されている地域ねこは約700匹の実績となってきたが、現況と課題について問う</p>	<p>(1) 猫避妊等手術費補助事業の補助件数の開始以来の推移はどのようなか (2) 地域ねこ団体の献身的な活動により、大きな公園では遺棄があるにも関わらず着実に減少しているが、住宅地における活動の効果をどのように把握しているか。また、課題は何か (3) 令和元年に改正され、令和2年6月に施行される「動物の愛護及び管理に関する法律」の主な改正点はどのようなか。また、今後市民への周知はどのように展開していくのか (4) 地方公共団体は条例を定めることにより所有者等に指導をすること、多頭飼いに係る届出をさせること等の措置を講ずることができるとしているが、地域ねこ活動の推進と併せて「動物の愛護及び管理に関する法律」に実効性を持たせるため、条例を制定すべきと考えるがどうか</p>	
---------------------------	--	---	--

質 問 者	7 富 田 博 巳 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 循環バスの利便性 向上策について	1 循環バスの運行状況及び安全運 転に向けた取組について問う	(1) 過去3年間における循環バスの事故及び故障の状況はどのよう であるか (2) 循環バスの利用者の平均乗車区間・乗車時間をどのように把握 しているか。また、車いすの方を含めた利用状況はどのようであ るか (3) 循環バスの運転手に対する安全教育はどのように行われている か。また、その内容をどのように把握しているか	
	2 知多乗合(株)が加木屋車庫から尾 張横須賀駅までの間を回送運行し ている横須賀線の活用策や他市の コミュニティバスとのバス停の共 同利用の状況について問う	(1) 知多乗合(株)の横須賀線において、回送運行している区間を西知 多総合病院と尾張横須賀駅を結ぶ定期路線バスとして活用する考 えはあるか (2) 本市循環バス及び他市のコミュニティバスによるバス停の共同 利用の状況はどのようであるか	
	3 市民により親しまれるための新 たな取組及び利用者の更なる利便 性向上に向けた取組について問う	(1) 車内の広告スペース等を活用し、園児の作品展示や観光PR等 を行う考えはあるか (2) 利用者が循環バスの運行状況を確認できるシステムを導入する 考えはあるか (3) 観光客も含め日常的に循環バスを利用していない方に対する利 便性向上策をどのように検討しているか (4) 交通系ICカードによる利用料金の支払システムを循環バスに 導入する考えはあるか	
2 生活環境対策につ いて	1 市内南部地区の降下ばいじんの 状況及び臨海部企業による集中豪 雨時の水質汚濁防止対策等につい て問う	(1) 文化センター、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民 館における直近の降下ばいじん量はどのようであるか (2) 令和元年7月の豪雨により、降下ばいじん量が欠測となったが、 欠測防止に向けた対策はどのようであるか (3) 臨海部企業による集中豪雨時の水質汚濁防止対策及び今後の降 下ばいじん対策を市としてどのように把握しているか	

質 問 者	8 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 自殺対策について	<p>1 本市の市民憲章に定める、「明るいしあわせなまち」とは、市民が心身ともに健康で生きがいを持って暮らすことができる社会であると考え、それを実現し、維持していくために自殺対策は重要な施策の一つであると考え、本市の自殺対策について問う</p> <p>2 自殺対策基本法の一部改正により、全ての都道府県及び市町村に地域レベルの自殺対策計画の策定が義務付けられたことについて、本市の状況を問う</p>	<p>(1) 本市の自殺の状況と特性を、どのように捉えているのか</p> <p>(2) 国は月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定め広報啓発活動を展開するとしているが、本市の令和元年度の取組は、どのようなものであるのか</p> <p>(1) 国は自殺対策の地域間格差の解消を目指しているが、近隣市町等の自殺対策の調査研究は行われているのか</p> <p>(2) 本市の自殺対策計画の策定は、どのような状況なのか</p>	
2 ハラスメント防止策について	1 パワーハラスメント対策の法制化やセクシャルハラスメント等防止対策の強化が求められている現状を捉え、市職員の働き方の観点からハラスメント防止策について、本市の現状と考えを問う	<p>(1) 民間企業に義務付けられたパワーハラスメント防止措置を参考にした市職員へのパワーハラスメント防止措置の展開を、どのように考えているのか</p> <p>(2) 市職員がハラスメントを感じた場合に、気軽に相談や通報することができる制度や適切に対応できる体制は整っているのか</p>	
3 感染症対策について	1 毎年のようにインフルエンザが猛威を振るい、令和2年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大が伝えられており、感染症のリスクに対する市民の関心が高まっていると考える。感染症対策に関する市民への啓発について、本市の現状と考えを問う	<p>(1) 罹患予防や重症化を防ぐための市民への啓発は、どのような方法と内容で行われているのか。また、感染症の流行等に合わせた啓発の時期について、どのように考えているのか</p> <p>(2) 平成21年の新型インフルエンザをはじめとする、過去に感染症が大流行したことの教訓を踏まえた取組は、どのようなものがあるのか</p>	

	<p>2 感染経路を断つ観点では、マスクの着用や手指消毒剤等の使用が有効であることが伝えられているが、マスクや手指消毒剤等の備蓄等について、本市の現状と考えを問う</p>	<p>(1) 市として、マスクや手指消毒剤等の備蓄はあるのか。また、備蓄量は、どの程度のものなのか (2) 備蓄品の活用は、どのように行われるのか</p>	
	<p>3 感染力が非常に強い、もしくは、感染経路が明確になっていない感染症の罹患者及び感染が疑われる患者の救急搬送について、本市の現状と考えを問う</p>	<p>(1) 救急搬送における感染防止策は、どのように行われるのか (2) 救急搬送を想定した訓練は行われているのか。また、その必要性を、どのように考えているのか</p>	
<p>4 文化財建造物を火災から守る取組について</p>	<p>1 平成31年4月に発生したパリのノートルダム大聖堂の火災や同年10月に発生した沖縄県那覇市の首里城の火災を受け、文化財建造物の消火設備等や防火管理体制への関心が高まっていると考える。本市指定の文化財建造物を火災から守る取組について、現状と考えを問う</p>	<p>(1) 本市指定の文化財建造物の消火設備等はどのように備わっているのか。また、消火設備等の点検は、誰によって、どのような頻度と内容で行われているのか (2) 令和2年の文化財防火デーでは、どのような訓練が行われたのか。また、文化財防火デー以外では、どのような訓練が行われているのか (3) これまでの訓練によって、どのような課題や問題点が洗い出され、現在の文化財建造物を火災から守る取組に生かされているのか</p>	